諸小学

創立年月日(創立記念日) 校長氏名 所 在 抽 電 話 TEL 233-2447 明治5年10月23日 甲府市上阿原町491番地 岩下 清彦 (10月23日) FAX 233-2451

学校教育目標 「知・徳・体の調和のとれた児童の育成を図り、児童一人一人のよさや可能性を伸ばす。」

心豊かな子 \bigcirc

すなおで明るい子ども 思いやりのある子ども (思いやり・感謝・情操)

○ 考え深い子

進んで学習する子ども 精一杯努力する子ども (創造・思考・意欲・実践)

たくましい子

心身ともに健康な子ども 最後までやりぬく子ども (健康・安全・気力・忍耐)

力を合わせる子

互いのよさを認める子ども 協力する子ども (自立・責任・協力)

学校経営の最重点事項 【人とのかかわり(心を感じる)を大切にした学校・学年・学級経営】

校

学

経

営

0 重 点

特 色 あ

る教育活 動

- ①教科学習の充実と基礎的・基本的な学習内容の確実な定着と一人一人の個性や能力を生かした学習を図る。 ②一人一人の児童をゆとりをもって見つめ、児童理解を深めながら学び方を学ばせるとともに、学習意欲や学ぶ喜びを育
- ③児童との心のふれあいを大切にし,思いやりの心情を高め,個性を認め合う児童の育成を図り,学校生活の基盤となる

- ③児童との心のふれあいを大切にし、思いやりの心情を高め、個性を認め合う児童の育成を図り、学校生活の基盤となる 学級集団づくりに努める。
 ④教育活動全体を通して人・自然・社会とのかかわりを重視し、豊かな体験や勤労体験などの活動を積極的に取り入れ、思いやりの心と生命と人権を尊重した心豊かな人間性を培う。
 ⑤一人一人の児童を大切にし、心の健康に意をはらい、課題が顕在化してからの対応ではなく早期に児童の信号をキャッチするよう努める。また、課題に対しては全職員の共通理解と協働指導体制を図る。
 ⑥特別支援教育についての研修を行い、障害についての正しい理解と認識を深め、教職員間の連携を取りながら、すみれ学級との積極的な交流を図る。また、学級で課題を抱える児童に対して全教職員の共通理解のもとで対応していく。
 ⑦図書室と学級文庫の充実を図るとともに、読書ボランティアなどを活用し、読書に親しみ、読書の楽しさがわかる読書指導に努め豊かな心を育む。
- 8学校生活の基盤となる家庭との連携を密にして、児童一人一人の発達や状況に即した対応に心がけ、学習の意欲や定着に関わる望ましい生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)や学習習慣(家庭学習)の定着を図る。 9学校、家庭、地域社会との連携を深め、地域の人材や施設の利用などを図り、相互の信頼関係の中で児童の健全な育成を図る。
- ⑩個人研修, 校内研修の充実を図りながら自らの人間性を豊かにし、教師としての指導力の向上に努め、創意と意欲に 満ちた教育活動の推進を図る。

・「あさかぜ活動」(毎週火曜日 8:15~8:35)児童会縦割り班による清掃活動やゲーム・工作など充実した縦割り活動を行っている。特に清掃活動は、長い間継続して取り組んでいる。
・「朝読書」(毎週金曜日) 豊かな心の育成として、全校で取り組んでいる。また「読み聞かせボランティア」が来校し、子どもたちの興味・関心を高める読書活動を行っている。
・「フェスティバルたまもろ」(11月)
児童会主催による学校行事。縦割り班を中心にそれぞれの学年に応じた活動を通して、協力しながら工夫してお店を出している。また、この日は、地域の人々にも開放し、地域との交流を行っている。
・保護者、地域社会との連携によるPTA活動を年間を通して実施している。

					月 ~ 金 曜 日									備考			考	校内研究の概要・研究指定
	職児	- `	出登	勤校		: 1 5 : 1 5								• 朝			水・木曜日) ~8:35	◎研究主題 子どもと向き合う時間を確保 し、学びの質を向上させてい く教育課程の在り方
時程表	朝1234給昼清56帰		習校校校校 休 校校の	動時時時時食み掃時時会	1	8: 8: 9: 0: 1: 2: 1: 1: 2: 3:	4 5 3 5 4 5 3 5 2 0 1 0 3 0 5 0 4 0		~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	9 1 0 1 1 1 2 1 1 1 2 3	: 3 5 6 : 2 0 6 : 2 0 6 : 2 1 0 6 : 2 1 0 6 : 2 1 1 0 6 : 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1)))) 5 5		朝- 委- ク	8 読8 員3 ラ3	15 金 15 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	動 (火曜) ~ 8:35 曜) ~ 8:35 ~ 3:45 ~ 4:00	く教育課程の任り方 〜学校と子どもの実態に即したカリキュラム・マネジメントの実践的研究を通して〜 ○平成31年度・令和2年度「甲府の子どもの教育総事業」指定要領の趣旨を推進事業」指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成や指導方法・教員の多忙化改善
	児	君 童 下 校 4:30(3~10月)4:00(11~2月)							月)	・きずなの日 (原則毎月第1,3月曜)				主 な 行 事				
	職	員	退	勤	4	: 4 5	5											○年間を通して
		区教科特																
年	\backslash	区			孝	女			禾	斗			特	特	総	外	年	・あさかぜ活動 (縦割り活動) ・読書運動 ・あいさつ運動
年間授	11	区分	国	社	算	理	生	音	図	家	体	英	別の教	特別活	合的	外国語	年 間 時	・読書運動 ・あいさつ運動 ・ボランティア活動推進 ・学校開放
間	学	分 \	国語	社会			生活	音楽		1	体育	英語	別の	別	総合的な学習の時間	国	間	・読書運動 ・あい運動 ・ボランティア活動推進 ・学校開旗 ・登校指導 ○1学期 ・1年生を迎える会 ・校外学習
間授業時	学	. 分 、	Ι		算	理	4	1	図	家			別の教科道	別活	合的な学習の時	国語活	間時間合	・読書いる ・読書いる ・読書いる ・ でを校 ・ でをで ・ でをで ・ でで ・ で ・
間授業時数・	学年	. 分 , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	語		算数	理	活	楽	図工	家	育		別の教科道徳	別活動	合的な学習の時	国語活	間時間合計	・読書いる ・読書いる 動の一方が導 でを受ける がでを受ける でででででででである。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
間授業時数・ク	デ 年 1	分	語 306		算 数 136	理	活 102	条 68	工 68	家	育 102		別の教科道徳 34	別活動	合的な学習の時	国語活	間 時間 合 計 850	・読書いった。 ・読書いっテ放導 運さン開指期を習を任会 で変見のでは、 で変更のでででである。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
間授業時数・クラ	学 年 1 2	. 分 4 5	語 306 315	- A	算 数 136 175	理科	活 102	楽 68 70	工 68 70	家	育 102 105		別の教科道徳 34 35	別 活動 34 35	合的な学習の時間	国語活動	間 時間 合計 850 910	・読書の ・読書の ・読書の ・読書の ・記 ・記 ・記 ・記 ・記 ・記 ・記 ・記 ・記 ・記
間授業時数・クラス	学 年 1 2 3	分 4 5 4	語 306 315 245	会 70	算 数 136 175 175	理 科 90	活 102	楽 68 70 60	工 68 70 60	家	育 102 105 105		別の教科道徳 34 35 35	別 活動 34 35 35	合的な学習の時間 70	国語活動 35	間 時間 合計 850 910 980	・読書いっテ放 ・読書いっテ放 ・調動で ・調動で ・ででをでする。 ・でででででする。 ・でででででする。 ・でででででする。 ・ででででする。 ・でででする。 ・でででする。 ・でででする。 ・でででする。 ・ででででする。 ・でででする。 ・でででする。 ・でででする。 ・でででする。 ・でででする。 ・でででする。 ・でででする。 ・でででする。 ・でででする。 ・でででする。 ・でででする。 ・ででする。 ・でででする。 ・ででする。 ・ででする。 ・ででする。 ・でできる。 ・ででできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・ででできる。 ・でできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででででできる。 ・ででできる。 ・でででででででででででででででででででででででででででででででででででで